

(第6条関係)

事業計画書

| | |
|-----|--------------------|
| 事業名 | 難聴者にやさしいまちをつくろう！事業 |
| 団体名 | ユニバーサル・サウンドデザイン |

★貴団体が申請する事業について、
お伺いします。

1. どのような地域課題を解決したいのか、その現状や背景などについても含めて記載してください。

- ・松戸市の高齢者は、全人口 478,986 人の 20%を占める 97,582 人となっており5人にひとりが高齢者となっています。
- ・株式会社第一生命経済研究所レポートによれば65歳以上の高齢者の約半数ちかくの方が知らず知らずのうちにテレビの音量が大きくなってたり、話す声が大きくなるなどの難聴による症状があると伝えています。
- ・難聴になることで外部からの情報が途絶え、人との対話が少なくなり他社とコミュニケーションする能力が衰えてしまうことで脳の老化がおこりボケの引き金になるとの報告があります。(東京大学先端研究所 大沼教授)
- ・上記を松戸市にあてはめると約5万人の方が聴こえに関してなにかしらの問題を抱えている可能性があるということになります。
- ・松戸市のNPOや市民団体や行政主催のセミナーや講習会に訪れた高齢の参加者の意見を聞くと「ゆっくりはつきり話すなど、話し方に工夫してほしい」、「会場の音響設備をもっと聴き取りやすくしてほしい」などの要望があがってきており聴こえの問題が顕在化していることが分かりました。
- ・身内の方が難聴や中途失聴になっても、難聴や聴覚に関する知識が乏しいため、難聴・失聴者本人の生活上のストレスや苦痛を理解できず結果的に「コミュニケーションが円滑でなくなり家族内で孤立してしまう」などの問題が顕在化している。
- ・私たちは「まず聴こえに関する理解を深めるセミナー」や相談会などを実施し「難聴者への配慮ができる地域社会の実現」「難聴に関する理解と難聴者と健聴者とのコミュニケーションの活性化」に寄与したいと思っています。

2. それらの課題を解決することで、どのような地域にしたいのかを記載してください。

- ・松戸市内の聴覚障害に関する知識の底上げを行い「難聴者に配慮できるまち」を実現し「難聴者が住みやすいまち」にしたい。
- ・自治会や市民活動 NPO 主催の講習会は高齢者の参加が多い場合も健聴者を基本として音環境を構成されていますが、講義主催者や講義者自身が参加する方が「聴こえやすい環境を準備することが当たり前になるまち」
- ・「人はだれでも耳が聴こえにくくなる可能性がある」という事実を健聴者にも本講習会を通じご理解いただき、ご本人や家族、友人が難聴・失聴となってしまった場合も、ひとりで悩まず当団体や当団体のメンバーとともに解決していくことを目指します。

3. どのような地域課題の解決につながるのかが、分かるように事業内容を記載してください。

・事業内容

☆私たちの団体の理事長および副理事長は難聴や音響技術に精通しています。顧問や技術協力会社にも 医学博

士や音響工学を専門としており「聴こえに関するスペシャリスト」が参加しています。このスタッフにより「あなたの耳年齢チェック」「聴こえと難聴の理解を深めるセミナー」を実施いたします。

(1) 「聴こえと難聴の理解を深めるセミナー」

・「興味・関心」をもっていただくために

「耳はどのように衰えるのか?」「難聴の発症する仕組みと種類」「よりよく聴く聴き取るために」の3つを初心者にもわかるようにお話しします。

・「体験・体感」していただく仕組み

耳せんをつけてグループワークを行っていただき難聴になった状況を仮想体験してもらい生活上の不便さを実感してもらう」

(2) 「あなたの耳は大丈夫?あなたの耳年齢チェック!まずあなたの聴力を知ってもらう活動」

「聴力の自己評価」をして自分の聴力を確認する

こちらで用意したチェックシートへ記載いただく方法と、iPhone用聴力検査アプリを利用しその場で自分の聴力を知っていただきます。

上記を事業をおこなうことで、ご家族の方が難聴や中途失聴になっても、「難聴や聴覚に関する正しい知識」と「対処方法」を習得しているため、難聴・失聴者本人の生活上のストレスや苦痛をやわらげ、「難聴者の家族内での孤立」を解決することができます。

・想定されるスケジュール（事業内容について、具体的な取り組みを下記のとおり記載してください）

| | 具体的な取り組み | 実施体制、対象、場所など |
|---------|---|--|
| 4月～6月 | ・難聴の理解を深めるセミナーと相談会の実施 | ・常盤平6丁目安心安全ステーション ・常盤平診療所 ・実施体制：団体構成員 5名 |
| 7月～9月 | ・難聴の理解を深めるセミナーと相談会の実施 | ・常盤平市民センター ・松戸市内耳鼻科医 ・実施体制：団体構成員 5名 |
| 10月～12月 | ・難聴の理解を深めるセミナーと相談会の実施 ・ミミーサポーター養成講座の検討 | ・常盤平市民センター ・松戸市内接骨院 ・実施体制：団体社構成員 8名 |
| 1月～3月 | ・相談ケースの分析 ・セミナープログラムの見直し | ・企業要請 ・実施体制：団体構成員 8名 |

4. 事業に取り組む上での達成目標を記載してください。

※事業目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載してください。

(1) 「聴こえと難聴の理解を深めるセミナー」

「耳はどのように衰えるのか?」「難聴の発症する仕組みと種類」「よりよく聴く聴き取るために」の3つのテーマを受講いただくことで耳の仕組みと難聴の発症する仕組みを理解いただき、具体的にどのような改善方法

があるかを習得いただくことで、参加者の難聴者や聴力低下者への配慮の意識が向上する。

→隔月実施 12か月× 隔月1回 =6回 1回あたり15名の参加人数とし120人に提供

- (2) 「聴こえと難聴の理解を深めるセミナー」終了後に相談会を行い、聴者本人もしくはご家族などの話に耳を傾けることで精神的に安心していただくことを目指す。

→隔月実施 12か月× 隔月1回 =6回 1回あたり3名の参加人数とし18人に提供

- (3) 自分の聴力を簡易的に検証したり、相談会に参加いただいたことで、耳鼻科および鍼灸治療院へ足を運ぶきっかけとなり、難聴の早期治療と完治もしくは回復に貢献したい。

※難聴でも突発性難聴の治療方法は耳鼻科での治療とハリ治療があり、中でもハリ治療はこれまで750程度の健常化が「突発性難聴ハリ治療ネットワーク」より報告されています。

5. 助成金終了後、どのような活動に取り組むのかを記載してください。

- ① 幼稚園・保育園の園児向けに当団体理事であり絵本作家のムライタケシ氏の協力のもとステータスシンボルである「くまのミミー」を題材にした絵本を作成し個別販売や寄付を行い難聴の啓蒙活動を行う。
- ② 中小企業のCSR活動を促進するために、当団体と共同もしくはアウトソーシングする形ですすめることで継続的な寄付基盤を構築する。
- ③ 当団体の強みであるIT技術力を駆使し新しい寄付マッチングサービスを提供します。
聴こえ支援スピーカーをほしい団体や医療機関などにサイトに応募をしていただき、当サイト上で聴こえ支援スピーカーを寄付したい団体や企業が寄付をする先を指定する仕組みです。聴こえ支援スピーカーを寄付する際は企業の代表者に御同行いただき寄付を実施します。
- ④ 活動をすすめていく中で、さらに「聞こえや難聴のことを学びたい方」「難聴で困っている方の聞こえの改善支援をしたい方」向けに「ミミーサポーター養成講座」の開催を検討します。認定ミミーサポーターが松戸市の各地域で活動することで、難聴・失聴者本人の生活上のストレスや苦痛をやわらげたり、「難聴者の地域内での孤立」を防ぐことを目指します。

(第6条関係)

事業の予算計画書

【収入】

| 申請者 | (自己資金) 会員収入 寄付など | 金額 | 積算内訳 |
|-----|------------------------|----------|----------|
| | | | 133,360円 |
| | 自己資金合計(a) | 133,360円 | |
| 市 | 助成金申請額(b) | 100,000円 | |
| | 収入合計(c)(a+b) | 233,360円 | |

【助成金申請額(b)チェック項目】

1. 対象となる経費(d)欄の90%以内
2. 1事業あたり10万円以内

【支出】

| | 項目 | 金額 | 積算内訳 |
|-------------|---------------|-------------|-------------------|
| 交付対象経費 | 講師謝礼金 | 30,000円 | 5,000円×6回 |
| | パンフレット製作費・印刷 | 50,000円 | 5000枚×10円=50,000円 |
| | 講座配布資料製作費・印刷 | 60,000円 | 2000枚×30円=60,000円 |
| | 会場費用、消耗品 | 50,000円 | |
| | ボランティア・イベント保険 | 3,360円 | 560円×6 |
| | 対象となる経費合計額(d) | 193,360円 | |
| | その他 | 会議費・ケータリング費 | 20,000円 |
| 打ち合わせ会議費 | | 20,000円 | |
| その他経費合計額(e) | | 40,000円 | |
| | 事業費(f)(d+e) | 233,360円 | |

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。